

[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 平成10年7月

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 財団法人日本太鼓連盟

副会長 塩見 和子 Tel.03-3580-9536 Fax.03-3580-8322

第1回評議員会・第2回理事会を開催 — 第2期役員の選任・諸規定を制定 —

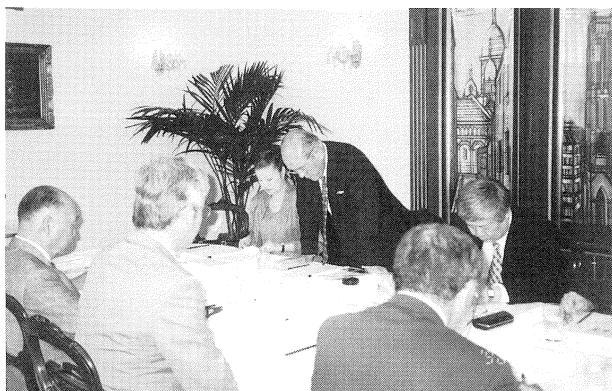
寄付行為に則り財団法人日本太鼓連盟の第1回評議員会と第2回理事会が去る6月24日に東京で開催された。

評議員会は、第1回理事会において選任された評議員によるもので今回が始めての会合である。

吉野会長の挨拶に続き議長の選出に移り、出席者の互選により岩手の河野和義評議員が議長となって議事に入った。

議題は、理事会で諮る前に審議しておかなければならぬこととなっている平成9年度事業報告並びに決算報告、平成10年度事業計画と収支予算の一部変更（日本財団の平成10年度交付額の決定を受けて変更が生じたもの）を審議した。また、この6月末で任期が満了する理事並びに監事の選任を行い、現役員と新たに4名の新任理事が選任された。（8頁のとおり）評議員会の後、大宅映子氏始め理事の方々を交えて、顔合わせを兼ねた昼食会が和やかな雰囲気で行われた。

昼食の後は、理事会に移り次の5つの議案が審議された。審議の結果については後述のとおりであるが、本理事会の決定により、これからの方針が明確化され、さらによりよい財団づくりに邁進することとなった。



●評議員会風景

第1号議案「平成9年度事業報告及び決算について」

平成9年度（平成9年11月11日から平成10年3月31日まで）の事業報告と決算について資料に基づき諮り、原案どおり可決承認された。

第2号議案「平成10年度事業計画及び収支予算の一部変更について」

日本財団の平成10年度交付額の決定を受けて変更が生じたものを改めて資料に基づき諮り、原案どおり可決承認された。

第3号議案「諸規程の制定について」

財団法人日本太鼓連盟の事業を円滑に推進するために必要な規程（運営委員会規程、会員組織規程、日本太鼓資格認定規程、日本太鼓助成金規程）の制定について資料に基づき諮り、原案どおり可決承認された。

なお規程は 平成10年6月24日から施行し、平成10年4月1日の年度当初にさかのぼって適用することになった。

第4号議案「支部の開設について」

支部の開設は、財団設立時点に入会している各県の太鼓連盟を「支部」とすることが承認された。

但し、新たな支部開設の手続きとして、「支部開設申請書」を各県連より提出することとなった。

また、新たに京都支部の開設が承認された。

第5号議案「会長、副会長、常務理事の選任について」

第1回評議員会で第二期役員が選任されたのを受け、寄付行為第17条第1項の定めにより理事の互選による会長、副会長、常務理事の選出を諮った。

その結果、第1期の任期が7ヶ月と短期であり、吉野和男理事に引き続き会長をお願いし、副会長、常務理事に関しては吉野会長に一任したい旨の提案があり8頁のとおり選任された。

代議員会を設置

法人設立に際してこれまでの任意団体時代と異なり、総会に代わる機関として会員組織規程に基づき「代議員会」を新たに設置することとなった。

<代議員会名簿>

代議員会代表 小口大八

池田庄作副会長、塩見和子副会長、浅野義幸理事、小野巽常務理事、(以上財団代表)
及川勝(釧根)／田中一男(青森)／藤沢清美(岩手)／加藤芳郎
(宮城)／鈴木俊秋(秋田)／龍・連山(山形)／高野建夫(福島)／
川口辰男(茨城)／島田明子(群馬)／井関君夫(埼玉)／宮崎義
政(千葉)／落合史雄(神奈川)／坂田憲章(富山)／齋田米夫(石
川)／高橋秀行(福井)／深澤登志夫(山梨)／鳴沢政一(長野)／
服部勝利(岐阜)／山内強嗣(静岡)／小久保定郎(三重)／景山
俊太郎(鳥根)／野本敏章(福岡)／八木忠次(佐賀)／田中俊己
(長崎)／今井冽(熊本)／長谷川義(大分)／岩切邦光(宮崎)／
脇元勝己(鹿児島)

(以上支部選出)

<第1回代議員会を開催>

第1回目の代議員会が、平成10年5月15日(金)に東京・三田の笹川記念会館で行われた。

代議員現在数33名のうち本人が18名、代理4名が出席(委任状10名)し、オブザーバーとして運営委員ほか3名が加わり開催された。

冒頭に財団を代表して塩見副会長より挨拶があり、続いて小野常務理事より代議員会を含めた組織の詳細な説明の後、出席者の紹介を行った。

次に代議員会の代表者を諮り、小口大八氏を満場一致で選任し、小口代表が議長となって審議に移った。

主な検討事項は次のとおり

議題1 「諸規程(案)について」

議題2 「事業について」

①日本太鼓子供コンクール

出演の選考方法、今年度中の実施希望を諮った。

開催内容等は技術委員会で検討することとした。

②助成金交付事業

今年度の助成事業は運営委員会で検討することとした。

議題3 「支部設立について」

①第1回運営委員会より支部規約の作成要請があり、原案の一部を修正することとし内容は運営委員長に一任した。

②京都府太鼓連盟より申請のある支部設立については、運営委員会に諮り、その結果をふまえ理事会に付議することになった。

その他、次の報告があった。

①第1回、第2回運営委員会の開催結果。

②第1回技術委員会の開催結果。

③シンボルマークの使用について説明した承された。

④各県の現況調査について説明した。

運営委員会を設置

組織及び運営に必要な事項を検討するために、運営委員会規程に沿って運営委員会が設置された。委員は、財団代表と全国6つに分類した各ブロック代表、さらに特別会員の代表者により構成されている。

<運営委員会名簿>

委員長 塩見和子 副委員長 小口大八

委員

池田庄作、浅野義幸、小野 巽、(以上財団代表)
鈴木孝喜(北海道・東北)、島田明子(関東)、玉村 武(北陸・甲信
越)、
寺田益男(中部)、落部勝司(三重・鳥根)、田中俊己(九州)、
(以上ブロック代表)

今泉 豊(特別会員代表)、

<第1回運営委員会>

第1回運営委員会が、平成10年4月8日(水)事務局のある船舶振興ビルで行われた。定刻前に委員12名全員が顔を揃えて開会した。

委員の紹介の後、財団を代表して塩見副会長より挨拶があり、引き続き、小野常務理事より運営委員会並びに代議員会の組織の説明があった。

運営委員会は規程が理事会の議決を得られるまで運営(準備)委員会として所要の案件を審議することとした。

次に委員長に塩見委員、副委員長に小口委員を満場一致で選任した。塩見委員長が議長となり審議に移った。

審議内容は次のとおり。

議題1 「会員制度について」

①会費は従来と同様に徴収することとした。

入会金及び年度会費の額は、基本的にはこれまで同様とし、18才未満の子供団体はそれぞれ半額。個人会員は認定制度との兼合から継続審議とした。

②会員制度のあり方の検討を行った。

③会員の名称及びブロックの分類方法を検討した。

④会員のメリットについての検討を行った。

⑤支部設立は、団体数5団体以上、構成員50名以上を基準とする。

⑥支部の運営基盤の整備は、今後の各支部の努力目標とすることとした。

議題2 「資格認定制度について」

①これまで任意団体で行ってきた資格認定制度を受け入れる。今後は公益法人としてさらに公平、公正さを強く打ち出し、見直しを図る。

②認定方法は公益法人としての行政指導もあり、一部手直しする。そのため日本太鼓資格認定規程、同細則、日本太鼓全国講習会実施要領などを至急作成する。

③認定に関する受験料、認定料及び更新料は従来通りとし、非会員の金額等は今後検討する。

④認定制度を含む技術に関する件は、小委員会として技術委員会を設置して検討することが急務であるとして委員の候補案を諮り10名が推薦された。

これにより、認定制度に関する案件は技術委員会で検討し、運営委員会に諮ることとなった。

議題3 「平成10年度の事業について」

<第2回運営委員会>

平成10年5月15日(金)東京・三田の笹川記念会館で、12名の委員中10名が出席し開催された。

塩見委員長が議長となり、次の事項を検討した。

議題1 「諸規程(案)について」

第1回委員会に続き、4つの規程を検討した。

①運営委員会規程(案)は、原案通り承認された。

②会員組織規程(案)を逐条審議し、条文を一部修正するほかは原案どおりとし、字句の修正等は運営委員長に一任することとした。

ほかの2規程とあわせて直後に開催した代議員会において承認され、第2回理事会に諮ることになった。

議題2 「事業について」

①日本太鼓全国講習会は6月に鹿児島で開催する。

②国際交流事業は国際交流基金より要請のあったキューバ、コスタリカ並びに、ニューオーリンズに、大分県のゆふいん潮流太鼓を派遣する。

③日本太鼓コンサートは6月11日に東京草月ホールで実施する。

技術委員会を設置

日本太鼓資格認定制度や日本太鼓全国講習会など日本太鼓の技術に関する事項を検討するために、このたび技術委員会が設置された。

委員は、財団代表と全国6つに分類した各ブロック代表、さらに特別会員の代表者により構成されている。

<技術委員会名簿>

委員長 古屋邦夫(甲信越・北陸)

副委員長 高野右吉(関東)

委員

池田庄作、小口大八、塩見和子、(以上財団代表)

鈴木孝喜(北海道・東北)、若山雷門(中部)、

景山道隆(三重・島根)、長谷川義(九州)、

(以上ブロック代表)

特別会員代表 今泉 豊、

<第1回技術委員会>

第1回技術委員会が平成10年4月24日(金)事務局のある船舶振興ビルで行われた。

委員10名全員出席により開会、委員が紹介された後、財団を代表して塩見副会長より挨拶があった。

引き続き小野常務理事より代議員会、運営委員会並びに技術委員会の組織について詳細の説明があった。

次に委員長に古屋邦夫委員、副委員長に高野右吉委員を満場一致で選任し、古屋委員長が議長となり審議に移った。審議の結果は次のとおり。

議題1 「日本太鼓資格認定制度について」

<公認指導員に関する事項>

①特別公認指導員は級外とする。

②1級公認指導員の取得年齢は30才以上、2級及び3級公認指導員の取得年齢は20才以上とする。

③笛専門の指導員は、今後の継続審議とする。

④昇級は事前に各支部の推薦を得、支部に加盟していない者は技術委員会の承認を受ける。

⑤更新時の研修会は平成12年から実施する。

⑥公認指導員の特別推薦は、今後新たに加盟する県も想定

されることからこれまで通りとする。

<技術認定員に関する事項>

①認定の種類はこれまでの5段階の上に新たな級を設定する必要性について今後検討する。

②笛専門の技術認定は特に必要性を感じないとのことから見送られた。ただし、3級において笛を、4級において鉦等を受講することとした。

③年齢の設定に関しては、現行の10才以上とし将来ジュニア版を検討する。

④受講及び受験に関しては会員に限定しないが、認定時点において会員とする。

⑤講習会における専門講座に関し、技術委員会で推薦するリストを作成する。

⑥講習会の検定講座は今後、各級基本講座と称する。

<検定に関する事項>

①検定員は1級公認指導員とする。また将来は2級公認指導員も5級から3級までの検定員とするよう検討することとした。

②公認指導員の講習内検定の指導方法及び最終検定時ににおける審査基準を統一するよう今後検討する。

③基本講座各級の指導要領を作成する。

④学科試験の内容は、正副委員長に一任する。

⑤講師謝金及び検定謝金はこれまで通りとし1年間据え置く。以上を基に規程(案)並びに細則(案)を作成して運営委員会に諮る。

議題2 「講習会について」

①全九州太鼓連合から希望のある全国講習会は、鹿児島において6月13日、14日に実施する。

主催、主管、後援等は全九州と事務局に一任する。

専門講座及び基本講座の講師を決定した。

②平成10年度内における未定の1会場並びに来年度以降の希望を代議員会において調整する。

議題3 「日本太鼓子供コンクールについて」

資料に沿って説明し、今後調整することとした。

<第3回運営委員会・ 第2回技術委員会合同会議>

平成10年7月16日(木)東京の船舶振興ビルで、第3回運営委員会・第2回技術委員会合同会議が開催された。財団を代表して塩見副会長より、本年度事業の実施にあたり、技術的な部分が多く含まれており両委員会に関連ある議事内容が多いため第3回運営委員会と第2回技術委員会の合同会議となった旨の説明と委員会出席への感謝の挨拶があった。続いて塩見運営委員長が議長となり「諸規程の制定」と「支部開設」を事務局より説明報告した後、審議に移った。審議は各種事業の内容について検討し、それぞれを取りまとめた。(6頁の事業欄を参照)

その他は次のとおり。

①会報3号は現在作成中で完成次第各地に送付する。

②役員の改選に伴い、財団パンフレットの差込頁を印刷し発送する。

③日本財団始め関連事業の協力が多くなっている。

④財団支部旗は、事業実施毎に該当する支部に対し、作成して配付する。

⑤太鼓のイメージをデザイン化した専用葉書を当財団が作成し広く活用する。

第2回日本太鼓チャリティコンサート開催

- 笹川記念保健協力財団の活動に協賛 -

日本太鼓チャリティコンサートが6月11日(木)、東京赤坂の草月ホールで日本財団の補助事業として実施された。今回は、(財) 笹川記念保健協力財団が支援している国際的組織・IDEA(アイデア)の活動、「ハンセン病制圧」及び「世界のハンセン病患者・回復者の共生・尊厳・経済向上」に対する募金キャンペーンの一環として行われた。

開会に先立ち行われた懇親の集いではハンセン病に関するパネルを展示したことでもあって、チャリティの主旨であるハンセン病や日本太鼓に関する会話の輪が広がり、大いに盛り上がっていた。

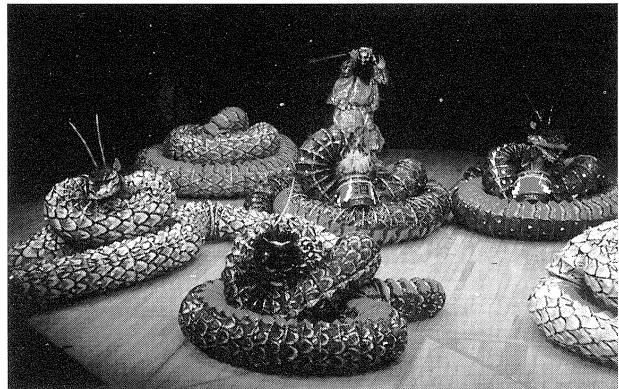
定刻、日本太鼓連盟を代表して塩見副会長が挨拶、そして塩見副会長より聖路加病院の院長でもある(財) 笹川記念保健協力財団の日野原理事長の紹介があり、同氏よりハンセン病に関する説明などユーモアを交えて述べられた。

続いて演奏に移り、トップバッターは、「全群馬連合太鼓振興会」(代表・島田明子氏)の演奏から始まった。メンバーは中学・高校生の女子のみによる合同チームで、1月の第1回日本太鼓全国フェスティバルの際に群馬県の代表として出場している。合同とは思えない息のあった演奏だった。

2番目は、神奈川から「相州海老名東柏太鼓」(代表・島田健次氏)が出演、大太鼓の上にまたがり演奏するシーンに会場は大いに沸いていた。

次の登場は、東京・府中の大国魂神社に長い歴史と伝統を持つ郷土芸能「下染屋囃子連」(代表・戸塚利男氏)である。子供チームによる可愛らしい演奏と踊りに、客席から見守る目は非常に暖かかった。

4番目は、北陸・福井の「越前権兵衛太鼓保存会」(代表・玉村武氏)の演奏。1400年も前から地元の今立町に伝わる権兵衛さんが天狗と般若に太鼓を伝授され



●石見神代神楽上府社中(島根県)

る物語をユーモアを交えながら披露した。

舞台は一転、おどろおどろした雰囲気に転換した。舞台狭しとばかり、8つの大蛇(おろち)による石見神楽「石見神代神楽上府社中」(代表・岩川清氏)の登場。有名な八岐大蛇の物語を表現しながら8頭の大蛇がフォースーションを変え色々な体型を作っていく。眼光するどく、口から火を噴く様に客席から歓声があがっていた。

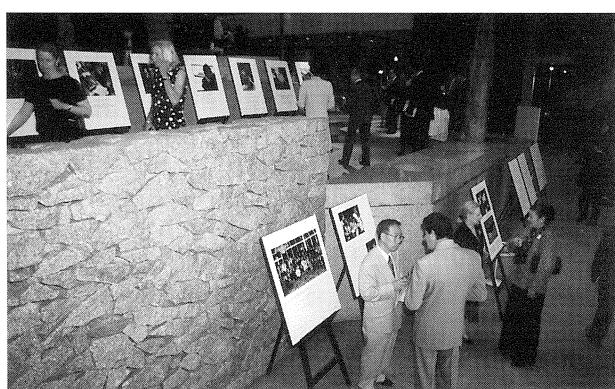
ラストは宮崎から橋太鼓響座(代表・岩切邦光氏)の登場。さすが九州男児による演奏は、男性的な迫力ある太鼓で客席を魅了していた。

フィナーレは、出演者全員と財団の役員等関係者が舞台上に勢揃い。塩見副会長の音頭により客席も含めて全員により手締めが行われた。この後、万雷の拍手の中出演者は客席を通り出口でお見送り。出席された皆様は、見送り太鼓の音を聞きながら家路につかれた。

〈皆様から募金を戴きました。

この場をお借りしてお礼申し上げます。〉

●チャリティ募金 500,000円



●ロビー風景



●フィナーレ

◆第2回日本太鼓全国講習会 鹿児島で盛大に開かれる◆

第2回日本太鼓全国講習会が6月13日(土)・14日(日)の両日、鹿児島県の名所の一つである霧島高原のみやまコンセールで行われた。九州で初めて開催された全国講習会には九州各県を中心に、長野、静岡等から250名を越える参加者が集まった。

開会式は、司会の田中全九州事務局長の紹介で、鹿児島県太鼓連合脇元会長の力強い開会宣言により始まった。主催者を代表して塩見副会長から「全国でも太鼓熱の高い九州において全九州太鼓連合並びに鹿児島県太鼓連合の全面的な協力を得て開催することとなり、その成果についても大いに期待している。」との挨拶に真剣に聞き入る受講生の表情が印象的であった。続いて全九州太鼓連合長谷川会長が九州を代表して挨拶。地元牧園町の木原町長より歓迎の言葉が述べられた。この後、講師の紹介に次いで、講習会の楽しみの一つでもある講師の模範演奏が行われた。

午後は、1時より講座が開始された。専門講座は大太鼓講座(講師:若山雷門氏)、秩父屋台囃子講座(講師:高野右吉氏)、助六太鼓講座(講師:今泉豊氏)、笛講座(講師:狩野泰一氏)、5級基本講座(講師:古屋邦夫氏、松枝明美氏)。一流の顔ぶれの講師により厳しい指導が始まった。

朝の集いから始まった2日目の講座も順調に進



●開講式



●講習会風景（5級基本講座）

み、最後は専門4講座の成果発表が行われ、2日間の講習による上達ぶりを披露していた。

閉会式では、小野常務理事と浅野理事そして長谷川全九州会長の挨拶があり、講習会は無事終了した。なお、午後は受検希望者による技術検定試験が行われた。検定の結果は、次の通り。

2級検定受検2名中、2名合格

(内、1名は最終合格のため2級技術認定、
1名は初回実技合格)

5級検定受検59名中、57名合格

(内、57名は5級技術認定、2名は学科追試)
九州では、初めての全国講習会でした。

主管していただいた全九州太鼓連合並びに鹿児島県太鼓連合の皆様には大変お世話になりました。

主会場となった「みやまコンセール」には共催として全面的なご協力いただきました。

また、鹿児島県立農業大学校並びに霧島九面太鼓にも会場を提供していただきました。

あいにくの雨の中、濡れるのも気にせず太鼓の移動や作業に一生懸命頑張っていただいた皆様に心からお礼申し上げます。

また、このようなご配慮に対して講師や受講生の多くの皆さんからも感謝が寄せられておりました。

そして、次回もぜひ九州で開催して欲しいとの感想が多くありました。

日本太鼓資格認定者（平成10年7月1日現在）

鹿児島県の合格者を含めた資格認定者は、次のとおりとなりました。

本年度の技術検定試験は、日本太鼓全国講習会の開催に併せて長野県と群馬県で行われます。

また、地区検定（県単位で実施）も計画しておりますので、このような機会にぜひ参加して下さい。

<公認指導員>		特別公認指導員	2名
計185名		1級公認指導員	17名
		2級公認指導員	71名
		3級公認指導員	95名
<技術認定員>		2級技術認定員	3名
計542名		3級技術認定員	35名
		4級技術認定員	47名
		5級技術認定員	457名

◆平成10年度の事業 (積極的な参加をお願いします。) ◆

◆第2回日本太鼓全国フェスティバル

出雲からの発信～和太鼓の唸り～

日本財団補助事業

期日 11月1日(日)

会場 出雲ドーム(島根県出雲市矢野町)

主催 財団法人 日本太鼓連盟

共催 島根県鼂・太鼓連盟

後援 文化庁、島根県、出雲市、出雲広域市町村圏、
(財)日本音楽財団、(以上申請予定)

協賛 山陰中央テレビ、山陰中央新報社ほか
出演数 45団体(県内15、県外28、海外2、)

入場数 5,000人

入場料(前売) 3,000円(子供1,500円)

規定時間は、1団体7分(海外団体は15分)

出演にあたっては、旅費の一部を補助する

出演申込締切 9月10日

*お問い合わせ、出演希望は、財団または各支部まで
また、次年度以降の開催地について各支部の希望
を募っています。

◆第3回日本太鼓全国講習会

日本財団補助事業

期日 10月24日(土)11:00(受付開始 10:00)

10月25日(日)12:30 講習終了予定

会場 穂高町市民会館(長野県南安曇郡穂高町)

主催 財団法人 日本太鼓連盟

主管 長野県太鼓連盟

後援 文化庁、長野県、長野県教育委員会、穂高町、
穂高町教育委員会、(財)日本音楽財団、穂高
町観光協会、報道各社

講習内容

御陣乗太鼓講座(単式複打法) 池田庄作氏(石川県)

富岳太鼓講座(単式单打法) 山内強嗣氏(静岡県)

御諏訪太鼓講座(複式单打法) 福野富子氏(長野県)

3級基本講座 若山雷門氏(岐阜県)

4級基本講座 松枝明美氏(長野県)

5級基本講座(初心者講座) 古屋邦夫氏(長野県)

(基本講座の講師は、いずれも1級公認指導員)

*公認指導員の昇級試験も実施

受講者数 約250名

受講料 大人10,000円(会員9,000円)高校生以上

子供 5,000円(会員4,500円)

1日参加は、一律金額大人 5,000円 子供 2,500円

その他宿泊費、交通費がかかります。

*お問い合わせは、財団または長野県太鼓連盟まで

「第一回全国障害者太鼓演奏会」



*第4回を2月頃に群馬で開催予定

◆第1回日本太鼓子供コンクール

日本財団補助事業

期日 平成11年3月21日(日)

会場 サンアリーナ川北(石川県能美郡川北町)

主催 財団法人日本太鼓連盟

主管 社団法人石川県太鼓連盟

特別協力 北國新聞社

後援 文化庁、石川県、川北町、(財)日本音楽財団、
(以上申請予定)

出場数 40団体程度とする。

①支部からは支部推薦により1団体(29団体)

*支部により予選を実施

②支部のない県等の推薦は技術委員会で決定
出場資格

①高校生までの同一県に居住又は通学する団体

②演奏人数は15名以内(男女不問)

演奏規定 演奏は、1団体5分以内とする。

(課題曲1分程度・自由曲4分程度)

審査方法 財団が委嘱した審査委員により行う。

表彰方法 優勝及び第5位まで表彰、優勝チームには財団会長杯を授与する。

出演申込締切 10月末日

*お問い合わせ、出演希望は、財団または各支部まで

◆日本太鼓助成事業

日本財団補助事業

募集 日本太鼓助成金交付規程により申請

対象 日本太鼓に関する事業を対象

期間 平成10年3月10日までに実施完了の事業

申請 第一期 9月末日まで

第二期12月末日まで

但し、第一期で予算を消化した場合は第二期の申請を打切る。

助成額 1事業20万円を上限とし、今年度は6事業で、計120万円

*お問い合わせは、財団まで

◆日本太鼓実態調査事業

日本財団補助事業

調査項目 演奏団体の名称、住所、代表者氏名、団体員数、結成の時期等

調査方法 全国約3,300の地方自治体教育委員会の協力を得てアンケートによる調査

6月28日(日)富士山の麓、静岡県の御殿場市民会館において「第一回全国障害者太鼓演奏会<「心に響けドンドンフェスティバル」>」が行われました。

この催しは、社会福祉法人富岳会の主催により太鼓による療養活動の20年の記念事業として企画されたものです。

全国から9つの太鼓チームが参加したフェスティバル、絵画療法(アートセラピー)として多くの出品作品を展示したワンダーアートギャラリー、「障害者と太鼓芸術の可能性を探る」テーマで話し合われたフォーラム、いずれも来場者の心に響きました。

事務局だより

◎ [会員等] の名称

新名称は、支部に所属する団体（太鼓チーム）を「正会員」、支部に所属しない団体（これまでの一般会員を含む）を「特別会員」、それぞれの団体に所属する者または個人のメンバーを「会員」とすることとなりました。なお、「贊助会員」はこれまで通りです。入会の方法は次のとおりです。

○法人設立時点で県連に加盟している場合

1. 県連に所属している正会員（支部の所属団体）は支部に入会の申請をして、支部の承認を経て支部より財団へ報告することとなります。
2. 特別会員及び贊助会員は必要書類を添付し、財団事務局へ提出して下さい。

○新規入会の場合

1. 団体の所在する県に支部があり正会員として入会を希望する団体は、所在する支部に入会の申請をして下さい。支部の承認が得られれば、支部から財団に報告があり、正会員として登録されます。
2. 特別会員及び贊助会員は必要書類を添付し、財団事務局へ提出して下さい。

*入会を希望する団体は、財団事務局までお問い合わせ下さい。

◎京都支部（京都府太鼓連盟）が誕生

京都府太鼓連盟（代表者・富治林浩氏）より申請のあった京都支部の開設については、運営委員会において検討の結果満場一致で承認。これを受け第2回理事会で諮り、満場一致で可決承認された。

京都支部の加盟団体数は11団体（215名）、これで7月現在の支部は29、団体は708となった。

トピックス

「ワールド・シー・ワールド'98」



7月18日(土)東京・船の科学館（財団法人日本海事科学振興財団）で「ワールド・シー・ワールド'98」が行われました。「海の日」を記念して毎年行われており、昨年より当財団に太鼓チームの出演協力の要請がきております。今回は東京の特別会員「天邪鬼」の皆さんに出演していただきました。当日は前日までの梅雨空が嘘のように朝から晴れあがり絶好の行楽日和。10時から演奏を開始、午後2回と併せて3回の演奏をリーダーの渡辺洋一氏を中心に文字どおりの熱演。羊蹄丸をバックにしてとても良い雰囲気で、来年を期待する声が聞かれた程の良い公演となりました。

◎「入会金」・「年度会費」が決定

理事会において次のとおり決定しました。

	入会金	年度会費
正会員	10,000円	10,000円
同（子供団体）	5,000円	5,000円
特別会員（団体）	30,000円	25,000円
同（子供団体）	15,000円	12,500円
特別会員（個人）	2,000円	3,000円

*特別会員（個人）は、大人、子供とも一律

贊助会員（個人） なし 50,000円以上

贊助会員（法人） なし 150,000円以上

名誉会員 なし なし

*これまで入会している団体については、継続扱いのため入会金は徴収しない。

*年度会費は8月中に納付のこと。

*子供団体とは、18才未満の子供のみによる団体をいう。

◎諸規程が制定

1頁の会議報告に掲載しましたとおり会員組織規程、運営委員会規程、日本太鼓資格認定規程及び細則、日本太鼓助成金交付規程の4規程が新たに制定されました。

4規程は、各支部に送付しておりますのでご活用下さい。なお、諸規程が必要な場合は、事務局にお申し出下さい。

「日英協会スプリング・ガラ・パーティ」



4月1日(水)に東京・英國大使館で日英協会の主催による「スプリング・ガラ・パーティ」が行われました。当日は、冷たい雨の中、ご臨席の三笠宮寛仁親王信子妃殿下を始め300名近いお客様が集まりました。庭園の特設テントを舞台に英國大使館の「番町祭太鼓」の歓迎演奏からスタート。日比谷での全国フェスティバルの自信から立派な演奏です。この後、セレモニーに続いて「八丈太鼓六人会」が登場。リーダー菊池修氏の唄を交えた熱演は寒さを忘れるほどの素晴らしいでした。当財団の理事でもある駐日英國大使のライト閣下、マクドナルド氏（日本ロレックス社長）、北村汎評議員（日英協会会长・元駐英大使）など関係者にも喜んでいただきました。

財団法人日本太鼓連盟役員紹介



会長
吉野 和男
(府中市長)



副会長
塩見 和子
(日本音楽財団理事長)



副会長
池田 庄作
(御陣乗太鼓保存会代表)



副会長
小口 大八
(御諏訪太鼓保存会会长)



常務理事
小野 翼
(事務局長兼務)

理 事

*は、新任理事

(任期：平成10年7月1日から平成12年6月30日まで)

- 浅野 義幸 (株)浅野太鼓楽器店取締役社長
＊井関 君夫 埼玉県太鼓連盟会長（関東代表）
植村 泰一 東京音楽大学理事・教授
大宅 映子 評論家
景山俊太郎 参議院議員
＊鈴木 俊秋 秋田県太鼓連盟会長（北海道・東北代表）
中地 刑 全国モーターボート競走施行者協議会理事長
＊西角井正大 実践女子大学教授
＊長谷川 義 全九州太鼓連合会長（九州代表）
クリストファー・マグナルド 日本ロレックス(株)代表取締役社長
三隅 治雄 (財)日本民族芸能国際交流協会理事長
山内 令子 社会福祉法人富岳会理事長
吉田 貴壽 昭和音楽大学学長
デイビット・ライト 駐日英国大使

監 事

- 長内 健 弁護士
宮地 真澄 (社)全国モーターボート競走会連合会専務理事

評 議 員

(任期：平成9年11月28日から平成11年11月27日まで)

- 伊藤 雅俊 (株)イトーヨーカ堂名誉会長
大町陽一郎 指揮者
岡田 知之 洗足学園大学教授
ジョージ・川口 ドラム奏者
北村 汎 三菱商事株式会社顧問
小泉 武夫 東京農業大学教授
河野 和義 岩手県太鼓連盟顧問（北海道・東北代表）
小久保定郎 三重県太鼓連盟会長（近畿代表）
高橋 秀雄 日本伝統芸能研究所所長
深沢登志夫 山梨県太鼓連盟会長（中部代表）
堀田 豊和 富山県太鼓協会相談役（長野・北陸代表）
松本源之助 江戸里神樂土師流家元
三木 稔 作曲家
宮崎 義政 千葉県太鼓連盟会長（関東代表）
脇元 勝巳 鹿児島県太鼓連合会長（九州代表）

(50音順、敬称略)

各地のたより

7月

- 12(土)前橋あそか会慰問太鼓フェスティバル(群馬県前橋市)
(あそか会体育館、主催:群馬県支部)
25(土)第13回富士山太鼓まつり(静岡県御殿場市)
(富士山御殿場口、主催:御殿場わらじ大祭実行委員会)
25(土)26(日)第12回国宝松本城全国太鼓フェスティバル
(長野県松本城内特設ステージ、主催:長野県太鼓連盟)

8月

- 2(日)和太鼓衆童心太鼓体験塾(岐阜県高山市)
(信田旅館体育館、主催:和太鼓衆童心)
8(土)松任国際太鼓エクスタジア'98(石川県松任市)
(松任総合運動公園、主催:同実行委員会)
8(土)第13回盛夏「鼓賑まつり」(熊本県菊池市)
" (ふるさと創生市民広場、主催:菊池雲上太鼓保存会)"
29(土)全国太鼓フェスティバル・イン・みのわ(長野県箕輪町)
(箕輪町文化センター、主催:長野県太鼓連盟)
30(日)第3回日近の里太鼓フェスティバル(愛知県額田郡)
(かうれ渓谷特設会場、主催:早川流やぐら太鼓ほか)
30(日)大響祭'98(秋田県北秋田郡)
(あきた北空港イベント広場、主催:大響祭実行委員会)

9月

- 6(日)第2回九州の鼓動！どこどこ音楽祭'98
(福岡県行橋市民会館、主催:飛龍八幡太鼓奉友会)
12(土)第4回秋田ふるさと村太鼓フェスティバル
第7回秋田県子供太鼓フェスティバル(秋田県)
(秋田ふるさと村、主催:秋田県、秋田ふるさと村)
13(日)第7回東北太鼓フェスティバル(秋田県)
(秋田ふるさと村、主催:東北太鼓連絡協議会)
13(日)福井県太鼓連盟設立記念「福井の太鼓」
(福井県鯖江市文化センター、主催:福井県太鼓連盟)
27(日)第6回青森県太鼓フェスティバル・第4回中世の里
太鼓フェスティバル(青森県浪岡町)
(中世の館、主催:青森県太鼓連盟、同実行委員会)
9月～11月(全国21会場)
全国幼稚園・保育園幼児音体フェスティバル'98
(全国21地区、主催:全日本幼稚教育連盟)
10月
18(日)平成10年度日本太鼓フェスティバル10周年記念国際大会
(岩手県陸前高田市民体育館、主催:同実行委員会)